

平成23年度

第6回岡山市保健福祉政策審議会における主要な意見

- 1 日 時 平成24年2月24日(金) 13:59~16:25
- 2 場 所 岡山市保健福祉会館4階 こころの健康相談室
- 3 出席者 委員9名
- 4 傍聴者 報道2社、傍聴者4名
- 5 議 題
 - ・岡山市の就学前教育・保育の在り方の策定について
 - ・今後の認可保育園施設整備について
- 6 主要な意見
 - <岡山市の就学前教育・保育の在り方の策定について>
 - ・市の子育てプログラムを同じ方針をもって保育園と幼稚園が提供しないと全ての子どもに質の高い就学前教育にはならない。
 - ・今まで文科省(幼児教育)と厚労省(保育)は、機能的に違うと主張してきたが、就学前の子どもへの教育とか保育は一般的な社会から見るとそれほど大差はない。
 - ・教育と保育の機能を統合した形でサービスが提供できる仕組みに変えていく必要がある。
 - ・幼稚園には、3歳児の入園希望というのが非常に多い。
 - ・家庭や地域での教育力、子育て力が低下している。子育て支援に関する生活実態の調査について、家庭教育力の低下に着目するような調査項目を是非やってほしい。
 - ・家庭、母親教育というのがまず必要だと思う。
 - <今後の認可保育園施設整備について>
 1. 認可保育園の整備が特に必要な地域について
 - ・前ページの資料からは中区が不足していると読み取れる。
 - ・職場が多い北区中央を中心に考えるべき。
 - ・利用する側にとっては、車がすぐに駐車でき送り迎えがしやすいというものを望んでいる。
 - ・市は、幼稚園を保育に必要な人を受け入れる施設に変更する強力な政策がとれないか。
 2. 整備区分の検討
 - ・新設園を整備するだけでなく、同時並行で老朽化や耐震構造でない園を改築整備する必要がある。
 - ・新設まで必要がないところは、既存園の増築という考え方はある。
 3. 借地上の認可保育園を認めるかどうか
 - ・新設の場合には自己所有とは競争にならない。
 - ・既存園の増築によって駐車場が多くなるとかあれば認めやすい。
 4. 地元同意の扱い
 - ・保育園は近隣住民にとっては騒音を感じる人もいると思う。
 - ・評価点をもう少し高くしたらどうか。

5 . 園長に保育士資格は必要か

- ・ 既存園に求めてないことから厳しすぎるかもしれない。
- ・ これから専門性を高めるとか、そういった方向に持っていく岡山市の姿勢を示す意味でも、そういった条件をつけたほうがよい。
- ・ 親にとっても、保育士であるということは、何か相談したときに事業者としての返事が戻るよりは保育士としての立場で返事をしていただけのほうがよい。
- ・ 現場の保育士が園長に何か相談したときに保育士としての立場で回答してもらった方が園全体もまとまりやすい。

6 . 社会福祉法人以外の参入をどう考えるか

- ・ 今後計画されている国の新システムでは、社会福祉法人の特別扱いはやめるのだから、それまでは現行通りでよい。